



私たち、ペタンク伊豆の国市代表選手です!!

10月29日(日)・30日(月)に葦山運動公園で開催される「ねんりんピック静岡2006 ペタンク交流大会」に、市代表として出場する土手和田Aチームの皆さんです。大会への意気込みを語っていただきました。



監督 杉村恒夫さん(75)
ペタンク経験は最長4年と若いチームですが、勘がいい。精神力を高め、メダルを狙います。



金澤ユリ子さん(72)
チームの和を大切に、楽しく一生懸命にプレイしたいと思います。



稲見殷男さん(72)
他県のチームに負けないよう無心で頑張ります。



中島早苗さん(66)
他県のチームに負けないよう無心で頑張ります。

鈴木欽矢さん(62・葦山土手和田)
スポーツ交流大会・剣道に出場
(10月29日・30日 / 藤枝市静岡県武道館)



杉田絃江さん(67・南條)
ふれあいスポーツ交流大会・ダンススポーツ(社交ダンス)に出場(10月29日 / 浜松市浜松アリーナ)

中澤栄司さん(71・南條)
美術展・写真部門に作品「日だまり」出品
(10月28日～31日 / 静岡市グランシップ)



ペタンクだけじゃない! がんばれ伊豆の国市民
伊豆の国市が会場となるペタンク競技以外にも、県内各地の会場で、次の三人が静岡県代表として出場・出品します。
市民選手の活躍を、みんなで応援に行きましょう。

全国からの選手団へ 折り紙ちゃっぴー贈ります!

ペタンク交流大会の出場選手は、日本全国からやってきます。大会の開始式で、選手の皆さんには、市内の幼稚園・保育園の年長さん手作りの、「折り紙ちゃっぴーメダル」をプレゼントする予定です。

7月25日、市内の幼稚園や保育園の先生を対象に、折り紙ちゃっぴーの講習会を行いました。先生たちは、これから、それぞれの園で、年長さんに作り方を指導し、折り紙ちゃっぴーメダルに仕上げます。



試作した「折り紙ちゃっぴー」を手にする先生たち! 「これで選手の皆さんをもてなします!」



チーム名 京都府代表「古都長岡京」
監督兼選手 大江きよ子さん(68)
選手 西村正吉さん(70)
選手 白川道雄さん(67)

背景の写真は長岡京市の名所・八条ヶ池

旧伊豆長岡町時代から親交のある、長岡京市の選手も、ペタンク競技京都府代表として、伊豆の国市にやってきました。
市代表チームと同じように、みんなで応援しましょう。

ペタンク選手団 長岡京市からも

ねんりんピックに関する問合せ
高齢者支援課 電話 0558 76 8011
ねんりんピック静岡2006実行委員会 電話 054 221 3524

ペタンクのボール(ほぼ原寸大) この金属球を目標球の近くに投げて点を競う

ペタンクのルール

観戦や応援も、ルールが分からなきゃつまらない。さあ、みんなで勉強しましょう!

ペタンクは、一チーム三人。一人二球ずつボールを投げ、目標球(ピュット)の近くにボールを寄せたチームが得点を獲得する、という簡単なルール。しかし、一球で形勢逆転することもある、奥の深いゲームです。

【試合の流れ】

まず先攻チームが目標球(ピュット)を六〜十メートル先に投げます。ピュットを投げたチームが、ピュットを目標にボールを投げます。続いて後攻のチームがピュットを目標にボールを投げます。
次からは、ピュットからの距離が近いボールのチームが先に投げます。ピュットからの距離が逆転することに、投球するチームが変わります。
両チームが六球ずつ投げ終わると、一セット(一メーヌ)



各チーム1人2球×3人投げると1セット(1メーヌ)終了。これを繰り返し、先に11点取った方の勝ち

が終了。メーヌの勝敗は、ピュットに最も近い位置にボールを投球したチームが勝ちです。得点は、相手チームの最もピュットに近いボールより、さらに近い位置にあるボールの数が得点です。
これを繰り返し、先に11点を取ったチームが勝ちとなります。



ピュットと呼ばれる目標球(ほぼ原寸大)木製で小さく、軽い